

世はアンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の今を写真で記録する～

She's Story

努力に見合った結果が付いてくるから、肉体改造は楽しい。



今月の「大人記念美」にご登場頂いたのは、宮崎の県立高校で家庭科教諭をされている富永美貴さん。中学生の時に思い描いた「将来は学校の先生になりたい」という夢に向かって、宮崎大学の教育学部に進学。特に調理が好きだったこともあり、家庭科教諭の道を選ばれました。

「調理が好きなのは、両親が飲食店(鮓屋)をしていたので、その影響もあると思います。教育の現場は大変なこともあります。好きな仕事に就けた幸せを常日頃感じています。現在赴任している学校は工業高校なので、ほとんどが男の子。最近の子は本当に優しくて、家族いんです。親を施設に入れないで自分で面倒を見たいからと介護の勉強をする子もたくさんいます。料理に関しては、段取りが悪いので、それをいつも言って教えています」

そんな美貴さんがエステワムに通いだしたのは、教員採用前の講師時代に、1年足らずで、なんと25kgも太ってしまったのがきっかけなのだそう。

「大学時代は今くらいの体重だったんですけど、卒業して1年で劇変しました。ストレスからなのか過食になってしまって、ケーキもホールで平らげていました(笑)。自力でなんとか10kgは落としたんですが、そこからは減らなくて…。その後、教員として勤め始めた職場の先輩に「私が通っているところに一緒に行かない?」と誘ってもらったんです。太っていましたが、肌もボロボロで悩んでいましたので」

当時は小林市の学校に勤務されていたので、都城店がワムデビューでした。

「美顔を受けるようになってから吹き出物がなくなって、血流が良くなったからか、血色が良くなり、顔色も変わりました。体重も自然と落ちたので、それなら痩身もやってみよう。痩身を始めて、残りの15kgがストンと落ちて、やっと元に戻りました。転勤後もワムに通いたいと思い、宮崎店に店を変え、ワム歴はかれこれもう14年になります」

以前の写真を拝見すると、その変化は驚くほど! 周囲の方から全く別人に変わったと言われるというのも納得。

現在は、エステワムはもちろんワムネスにも週1回のペースで通われていて、休日の過ごし方や趣味をお訊ねしても「趣味も休日もワム一色(笑)」とのご返答。前回の3連休は、毎日ワムに通われたほどだそうです。

「ワムネスして、ワムして、アージェワム(美容室)して…(笑)。休日はワムを優先して、あとは愛犬と遊んでいます。動物が好きなので、動物愛護のボランティア団体のお手伝いもしています。ワムネスを始めて、太ももに筋肉がつき、できなかったスクワットが出来るようになりました。ワムネスに行かない日も、体を動かしたくてムズムズするので、何かしら運動をするようになりました」

先日行われた『美ボディコンテスト』にもエントリーされ、さらに磨きをかけられたばかり。今回のエントリーは、ご友人の結婚式で着たい服を着るための肉体改造が目標だったのだそう。

「以前、すごく痩せた時は、痩せすぎて貧相な感じも否めなかった。だけど、今回は同時にワムネスにも通ったので、ただ、痩せただけでなく、筋肉がついたから、健康的にキレイに痩せることができました」

最後に、「還暦には赤いドレスを着て、その時はまた坂元社長にメイクをしてもらいたいです。社長を目標に、ずっと若くいられるよう、これからも頑張ります」と美貴さん。澁刺と健康的で、お肌もボディもキラキラと美しく輝かれています。



anne(アンヌ)はcoletteのお姉さん的な存在です

富永 美貴 さん(41歳)

Miki Tominaga
高校教諭

Hair&Make担当
AgeeWAM 宮崎店